

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	抗がん剤の血管外漏出の予防 ～血管アセスメントシート（試案）を用いた血管アセスメントの有効性の検討～	
1. 研究の目的と方法	<p>< 目的 ></p> <p>当施設では、血管外漏出の予防と安全な投与経路の選択を行う目的で、血管アセスメントシートの導入を検討しています。血管アセスメントシート(試案)は、血管外漏出の危険因子を9項目に絞り、危険因子の該当する項目が多い患者は血管外漏出の危険性が高いため、静脈ポートなど安全な投与経路を検討することで血管外漏出を予防できると考えて作成しました。本研究は、末梢静脈からの抗がん剤の投与を受ける患者の血管外漏出候補危険因子と血管外漏出との関連性を分析し、血管アセスメントシート(試案)の因子の妥当性や因子を減らすことができるかなど効果と課題を明らかにしたいと思います。</p> <p>< 研究の方法 ></p> <p>この研究は、患者さんを対象とした研究です。</p> <p>東京慈恵会医科大学附属柏病院外来化学療法室にて、血管確保に難渋した患者さんや血管外漏出を起こした患者さんと、血管確保に難渋しなかった患者さんの情報を、後ろ向きにカルテ調査にて収集して行います。</p> <p>リスクがある患者さんの集団：血管確保に難渋した患者さん（血管確保を2回以上失敗した患者さん）、血管外漏出した患者さん</p> <p>リスクがない患者さんの集団：血管確保に難渋しなかった患者さん（血管確保を1度も失敗しなかった患者さん）</p>	
2. 研究期間	2022年12月以降～2025年3月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	(1) 外来化学療法室にて治療を受けた患者さん (2) 調査対象期間において、下記の目的でカルテ上に血管アセスメントシートの入力がある患者さん <p>リスクがある患者さんの集団</p> <ul style="list-style-type: none">・血管確保に難渋した患者さん(2回以上血管確保を失敗した患者さん)・血管外漏出を起こした患者さん <p>リスクがない患者さんの集団</p> <ul style="list-style-type: none">・外来化学療法導入前看護面談時に血管アセスメントした患者さん、初回治療時に血管確保に失敗しない患者さん	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	患者基本情報：年齢、性別 ・疾患、治療情報：疾患名、治療内容（レジメン）過去の抗がん剤

		投与回数（静脈内投与） ・血管外漏出の危険因子	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部 外来化学療法室
		氏名	渡邊 ゆう子
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3)当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始日：2022年12月～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属柏病院 外来化学療法室 研究責任者：渡邊 ゆう子（わたなべ ゆうこ） 電話番号：04-7164-1111（内線3010） 対応時間：平日9：00～16：00		

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。